

本時の学習（第1時）

見通し1. つかむ過程において、県のデータを全国と比較して県のおおよその特徴をつかませる活動を行えば、調べる視点を明確にもつことができるであろう。

1. 学習目標

全国的な視野から見て群馬県の農業や工業などの特徴をつかみ、調べる視点をもつ。

2. 準備

教科書、副読本、地図帳、ワークシート、パソコン、プロジェクター

3. 展開

学習活動	時間	学習の支援と指導上の留意点	評価項目（方法）
○都道府県調べをするに当たっての心構えを確認する。	3分	○都道府県調べをする際には分布図を比較することの大切さを教える。	
○群馬県のイメージを確認する。	10分	○他県の中学生のアンケート結果から、群馬県がどのようなイメージでとらえているか確認するとともに本学級の生徒もどんなイメージであったか確認する。 ○群馬県の特徴を調べていくという学習課題を確認する。	
○全国的な視野から見て群馬県の農業や工業などの特徴をつかむ。	25分	○副読本や資料で農業について全国的な視野から見て目立っているものを確認して、群馬県の農業の特徴をつかませる。 ○副読本や資料で工業について全国的な視野から見て目立っているものを確認して、群馬県の工業の特徴をつかませる。	
○調べる視点をもつ。	10分	○群馬県の農業や工業の様子から自分の調べてみたい品目を考えさせる。 ○調べることを考えさせるときは農業や工業以外のことでもよしとする。	○調べる視点を明確にもつことができる。（関心・意欲・態度：ワークシート）
・次時の予定を知る。	2分	○次時は群馬県の土地利用の様子や気候の様子を調べていくことを知らせる。	

本時の学習（第4・5時）

見通し2. 調べる過程において、調べる視点に対していくつかの分布図と比較・関連させる活動を行えば、地域的特色を明らかにすることができ、地理的な見方・考え方を育てることができるであろう。

1. 学習目標

調べる視点と同じである生徒同士でグループづくりを調べ学習を進め、調べる視点に対していくつかの分布図と比較・関連させて考える。

2. 準備

教科書、地図帳、ワークシート

3. 展開

学習活動	時間	学習の支援と指導上の留意点	評価項目（方法）
○本時の学習の流れを確認する。	5分	○調べる視点と同じ生徒同士でグループを形成させて、調べ学習を進めることを知らせる。 ○グループの人数は多くても5人までとする。	
○調べる視点がある生徒同士でグループづくりを調べ学習を進める。	90分	○調べる際には図書室やインターネットからも資料を探させたり、教師が予め用意した資料を与える。 ○資料を基に自分の調べる視点に対しての分布図を各自に作製させる。 ○班ごとに、できあがった分布図を調べる視点に対していくつかの分布図と比較・関連させて考えさせる。 ○付箋紙を各自に持たせ、気づいたことをメモさせて、話し合いがスムーズに進むようにさせる。	○調べる視点に対して群馬県の土地利用図、年平均気温・降水量分布図、人口分布図、交通網図と比較・関連させて考えている。（思考・判断：ワークシート）
○次時の予定を知る。	5分	○調べたことについて群馬県の特徴が分かる見出しをつけてグループごとにまとめることを知らせる。	

本時の学習（第8・9時）

見通し3. 深める過程において、学習したことの共有化を図れば、地域的特色をより明らかにすることができ、地理的な見方・考え方を育てることができるであろう。

1. 学習目標

調べたことの発表会を通して、自分が調べたこと以外の群馬県の特徴を知り、群馬県の特徴をまとめる。

2. 準備

教科書、地図帳、ワークシート、群馬県の白地図（掲示用）、分布図（掲示用）、分布図のコピー（配布用）

3. 展開

学習活動	時間	学習の支援と指導上の留意点	評価項目（方法）
○本時の学習の流れを確認する。	5分	○調べたことの発表会を通して、自分が調べたこと以外の群馬県の特徴を考えていくことを知らせる。	
○調べたことの発表会を通して、自分が調べたこと以外の群馬県の特徴を知る。	45分	○発表するときには役割を分担させて、関連があった分布図を確認させながら発表させる。 ○発表の後には質疑応答の時間を設ける。 ○ワークシートに発表されたものの顕著な地域に色別に丸を付けさせて、視覚的に特徴をつかませる。 ○群馬県の特徴を考えやすいように、生徒が調べていなかったことで、群馬県の特徴的なことを教師の方で補足する。	
○群馬県の特徴をまとめて、発表する。	45分	○自分が調べた分布図と関連がある分布があったか考えさせることによって、群馬県の特徴について考えを広げさせる。 ○発表会で分かったことを確認しながら、群馬県の特徴を考えさせる。 ○少人数のグループで発表会をさせて、特徴について修正がある場合は修正させる。 ○最後に各グループで発表させ、群馬県の特徴を学級でまとめる。	○発表内容を自分の調べた内容と比較して、関連を考えている。（思考・判断：ワークシート）
○次時の予定を知る。	5分	○群馬県の特徴を表すキャッチフレーズを考えることを知らせる。	

群馬県の特徴を調べよう① 氏名()

1. 他県の中学生が考えている群馬県のイメージと1年B組の生徒が考えている群馬県のイメージの両方を見て、どんな感想をもちましたか。

[]

1年B組(37名)の結果(複数回答)		
第1位	鶴の形をした県	16人
第2位	温泉がある	14人
第3位	山が多い	12人
第4位	いなか	9人
第5位	こんにゃくが有名	8人
第6位	自然が多い	8人
第7位	海がない	8人
第8位	織物が有名	7人
第9位	利根川がある	5人
	その他	42人

2. 群馬県の農業や工業などの特徴をつかもう。

○群馬県の農業の特徴は？

[]

○群馬県の工業の特徴は？

[]

○

[]

3. 調べてみたいことを考えよう。また、どんなことを明らかにしたいのか考えよう。

[]

群馬県の特徴を調べよう②

氏名()

1. 群馬県の地形や自然環境について考えよう。



○次の文章の穴埋めをしよう。

群馬県のほぼ中央には東から()山と()山がそびえている。また、群馬県の北側にも武尊山や三国山脈の谷川岳や草津白根山がそびえている。それらの山に挟まれる形で沼田盆地や中之条盆地がある。その山々を縫うように片品川・吾妻川・烏川を支流とする()川や群馬県の東部を流れている()川が流れている。群馬県の南側には中央から東部にかけて()平野が広がっていて、県庁所在地の()市をはじめとしていくつかの市がつらなっている。

○群馬県の土地利用図を別紙で完成させよう。

- ・群馬県の地形図や土地利用図を見て気づいたことを書いてみよう。

○群馬県の年平均気温分布図と年平均降水量分布図を別紙で完成させよう。

- ・群馬県の年平均気温分布図と年平均降水量分布図を見て気づいたことを書いてみよう。

○群馬県の地形図・土地利用図と年平均気温分布図・年平均降水量分布図とを見比べて気づいたことを書いてみよう。

群馬県の特徴を調べよう④ 氏名()

1. 自分が作った分布図と、A地形図、B土地利用図、C年平均気温分布図、D年平均降水量分布図、E人口分布図、F交通網図と比べながら見て、気づいたことを箇条書きで全部書きましょう。そして、その際に比べた分布図をA～Fで記号で右に書きましょう。

気づいたこと	比べた分布図

2. 自分が作った分布図をみて、自分の調べたものの分布は、群馬県になぜそのように分布しているのか、その理由を考えよう。1で書いた気付いたことを参考にして考えよう。

--

調べたことについて考えよう 氏名()

群馬県の_____について

まとめ	その理由

群馬県の_____の特色は

--

群馬県の特徴についてまとめよう 氏名()

- 群馬県の学習をしたことを振り返って、自分なりに群馬県のキャッチフレーズをつくってみよう。

キャッチフレーズ	
それを考えた理由	

- 群馬県の学習では分布図を使っていろいろ比べながら学習しましたが、分布図を使って学習してよかったことを書いてください。

--

- 群馬県調べのまとめの学習をしたときに、黒板で他の人が発表するのを聞いたり、グループになって群馬県の特徴を相談したりしました。この学習で他の人の意見を聞いて、どんなところが参考になったか書いてください。

--